

三陸の海を放射能から守る

岩手の会

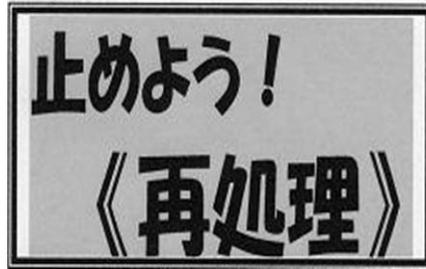
郵便振替 02240-5-102650

ホームページ《再処理 / 岩手の環境》

http://homepage3.nifty.com/gatayann/env.htm

《まった再処理分庫》

http://briefcase.yahoo.co.jp/k\_imag



《天恵の海》

2012(平成24)年

4月 4日

第111号

編集事務局 S.Oshida

TEL・FAX 019-623-1636

# 原発事故はもうご免! 核廃棄物を作るな! 押しつけるな! 3.1 11 せよなら原発・再処理 青森県民集会



あれから一年。三月一日を迎えました。青森市民文化会館大ホールには主催者発表一七三〇人という満員の市民が参集しました。大震災による犠牲者の鎮魂を祈りつつ、原発事故は人災であり許せない、再び繰り返してはならない。これ以上危険な原発を稼働させるな、核廃棄物をつくるな!、残すな! 押しつけるな! と語り合いました。集会のあと参加者は、「核廃絶・再処理撤退」を呼びかけながら市内をウォークし、最終地点の青森県庁では、「人間の鎖」を実行し、県庁は市民により包囲されました。

開会までステージ上の大スクリーンには、同時に開催されている「さようなら原発福島県郡山集会」の様子が映し出されました。

主催者挨拶のあとスペインヤルトークとして俳優の山本太郎さんとルポライターの鎌田慧さんが演壇に立ちました。

## 一人が10人に話そう 山本太郎さん

私は、福島原発事故が非常に危険な事態になって行くのを見て衝撃を受けました。みんなで生き抜くために、それを邪魔している原発や再処理を止めなければならぬと思います。青森は日本中の原発の使用済み核燃料「核のゴミ」を押しつけられていて、日本で一番危険なところだと思います。世界中でとくに、無理だ、危険だと諦めた核燃再処理を日本がやるうとしていて。一人が10人に、この現実を話して行きましょう。みんな声が上がれば止められます。

## 東北の鬼として 鎌田慧さん

今日は大震災の犠牲者を追悼する日です。九月の六万人集会で福島県の武藤類子さんが語ったように、私達は「東北の鬼」として、死者の鎮魂ではすまされない、怒りと悲しみを共有し、「核」との闘いと行動をすべき時です。一刻も早く、原発をやめなければなりません。「白河以北一山百文」の青森の地に「六ヶ所再処理工場や核廃棄物貯蔵施設」が持ち込まれたのは青森県庁が真実を隠したからです。一九六九年の新全総による下北半島の石油コンビナート建設計画はつぶれましたが、当初から「核燃サイクル構想」が書かれていました。一九八五年になつて、それが息を吹き返した。むつ小川原発の跡地に核燃サイクル再処理工場やウラン濃縮工場、低レベル廃棄物貯蔵施設づくりが提起され、青森県は核のゴミの捨て場になっていくのです。福島原発

事故で、今、一番懸念されるのは四号炉の使用済み核燃料プールの被災状況です。建屋の上部にあり大きな地震が来て崩れたりしたら使用済み核燃料が危険となる事態もありえます。核燃サイクル構想は「絵に描いた餅」です。「危険なものを安全」と言いくくるめて無理に押しつけるために巨額な資金が使われました。

既に国民の八〇〇九〇％が原発を求めず、それでも推進しようとするのは一握りの原発によって利益を得てきた電力会社やメーカーの幹部の人達だけです。稼働原発はあと二基のみ。電気は足りていません。面積では、アメリカの二五分の一しかない地震国日本にアメリカの半分ちかい五四基もの原発が作られました。政府の政策を変え原発を止めなければなりません。原発を止めても「核廃棄物」の安全対策は急がねばならない大事業です。子孫にこれ以上の核廃棄物を残すことは絶対に

出来ません。「アデュー 原発」「さよなら 再処理」続いて八人の方々のリレートークが続きました。

### 対岸の花火が見える 大間原発訴訟の会

大場一雄さん(函館市) 函館から大間は目と鼻の先で、打ち上げ花火も見えます。こんな近くに危険な原発が作られるなんて、絶対いやです。二〇一一年差し止め裁判を起こし三七八人の原告団で闘っています。福島から子どもとも避難してきたお母さんが、どこにも逃げようがないと公判で述べました。公判へ参加下さい。

### 原発には土地を 売らない

あさこはつす 小笠原厚子さん (青森県大間町)

大間原発から二〇〇㍊のところに「あさこはつす」があります。私の母は、「原発には土地を売らない」として、頑張り抜きました。そのため大間原発は二〇〇㍊移動して設計し直され、完成予定が二年延期され二四年になりました。その間に福島原発事故がありました。日本を守る

ために「あさこはつす」を守り抜きましょう。原発さえなければ！ 青森県農業者政治連盟 委員長 嶋海清彦さん (青森県)

### 核防災訓練がない 花とハーブの里

菊川慶子さん (青森県六ヶ所村) 今日朝九時半、六ヶ所村ではサイレンが鳴り津波訓練がありました。津波訓練はあっても六ヶ所再処理工場の核防災訓練はないのです。福島の人達はもうこれまでのように「ふるさと」を歌えないといひます。子ども達のためにふるさとを守るろう。

### 豊かな三陸の海を守る会 事務局長菅野和夫さん

(岩手県宮古市) 大津波の被害は、甚大で、本日はその慰霊のため

の行事が行われていきます。犠牲に追い打ちをかけるように、再処理工場から放射性廃液を流し三陸の漁業に大被害を与えようとしています。再処理を止めないならば三陸の沿岸の私達は、南部藩の農民大一揆が藩境を越えて闘ったように、「小」の旗を掲げて、青森県まで大挙して押しかけた気持でいっばいです。

### 福島に救援を！ 福島県保険医協会 事務局長菅原浩哉さん

(福島県) 福島県では放射能被害を恐れて沢山の子ども達が避難しました。また避難出来ずに福島に残った人びとも多くいます。どちらにも全国からの救援、ご支援が必要です。事故の収束が一刻も早く望まれます。被ばくのための健康診断の無料化、とくに子ども達全員の自己負担なしの検診と治療の体制が作られなければなりません。福島県は一〇基の原発全部の廃炉を決議しました。やっと気がついたのです。

### 子ども達を「脱被ばく」の地「で保養させよう

福島県では放射能被害を恐れて沢山の子ども達が避難しました。また避難出来ずに福島に残った人びとも多くいます。どちらにも全国からの救援、ご支援が必要です。事故の収束が一刻も早く望まれます。被ばくのための健康診断の無料化、とくに子ども達全員の自己負担なしの検診と治療の体制が作られなければなりません。福島県は一〇基の原発全部の廃炉を決議しました。やっと気がついたのです。

代表 結柴依子さん (秋田県) 真宗大谷派は教団として「すべての原発の廃炉」を決議しました。私は福島の子どもたちを秋田に受け入れ保養させる施設をつくるために取り組んでいます。不安の中で暮らしている福島のお母さん達から、この集会で、「福島の子どもを伝えて来て下さい」といわれて来ました。今回被害の少なかつた各県は放射能汚染瓦礫を受け入れるのではなく、福島の子ども達を受け入れ守るべきです。

### 原発は愚かな選択 郡山から避難した 鈴木昌平さん

(青森市在住) 原発事故で郡山市から青森市に妻子と一緒に避難しました。事故の翌日、私の息子が生まれました。避難のために意見が合わず離婚した人もいます。原発や核燃が如何に危険で愚かなものなのか、訴えます。

### このあと集会アピールが朗読され、追悼式が行われました。式では、追悼文が読まれ、全員で黙祷しました。

そして会場から青森

県庁までウォークがなされました。



大人たち！ 子どもを守れ！



青森県庁 人間の鎖

後発のグループの到着を待って、青森県庁を取り囲む「人間のくさり」が出来ました。沢山の人々が参加したので県庁は何重にも囲まれました。(まとめ・尚)